

訪問介護の専門性に関する調査研究 報告書

2017 (平成29) 年3月
日本ホームヘルパー協会

目次

I. 事業概要	1
1. 調査・研究目的	3
2. 調査概要	3
3. 委員一覧	4
4. 年間スケジュール	4
II. 専門性を導き出すためのプロセス	5
III. 調査研究	9
1. 訪問介護員を対象とした意識調査	11
2. 訪問介護員が専門性と考える実践行為の抽出	18
IV. 調査から見えてきた専門性	19
1. 訪問介護の専門性における具体的項目	21
2. 訪問介護の専門性とは	23
V. 訪問介護の専門性	29
1. 訪問介護とは	31
2. 訪問介護における専門性	32
VI. 訪問介護の専門性を支える知識・技術	35

VII. 専門性を確立するための条件	49
1. 訪問介護の専門性の知識の体系化及び広報の必要性について	51
2. 訪問介護員に対する教育	51
3. 多職種による情報共有のしくみづくり	52
4. 訪問介護の専門性を評価するしくみづくり	52
VIII. 資料編	53
1. 「訪問介護」に関する意識調査（アンケート調査）結果	55
2. ヒアリング調査結果	165
3. ホームヘルパー誌の改善事例リスト（55 事例）	168
4. 訪問介護におけるサービス行為ごとの区分等について	
（老計第 10 号）	181
あとがき	188

（本書における用語の使い方について）

本報告書においては、統一的な用語を用いることで読みやすさを担保することを目的として、便宜上以下のような用語統一を図っている。

用語	表す内容
訪問介護員	訪問介護サービスにおいて居宅に訪問する介護従事者（ホームヘルパー）を指す。施設介護サービスを提供する介護従事者等も含めて、広く表す場合は介護職と表記し、家族等も含めた専門職以外の者も指す場合は支援者と表記している。
居宅	自宅や在宅を指す言葉として統一。
支援	介護やサービスの提供そのものを表す言葉として統一。
利用者	サービス利用を受けている者を表す言葉として統一。

※アンケート自由記載等は、寄せられた意見を文言等の修正することなく掲載している

※いずれの用語も、文脈や意味合い、固有名詞等の理由により適宜他の単語と使い分けを行っている